

授業科目名 (英文名)	基礎ゼミナール (Basic Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	萩原 弘子	所属	国際商経学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>I 講義の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学で の学ぶ ために必要なアカテ ミックスキル(知識を集め、議論し、まとめ、発表する)の基礎を身につける。 ・将来のキャリアに向けた考え方を学ぶ <p>II 到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ク ルーフ て の議論をまとめ、発表て できるようになる。 ・将来のキャリアに向けて、大学て の学修を活かせるようになる。 		
講義内容・授業計画	<p>I 講義内容</p> <p>講義、ク ルーフ て ィスカッション、レホ ート作成、フ レセ ンテーション等を通し てア カテ ミックスキルの基礎を学ぶ とともに、キャリア教育を通し て将来のことを考える。</p> <p>II 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 大学の授業と学生生活 国際交流と県大の交換留学生制度 3 図書館の使い方 4 キャリアの考え方(1) 5 キャリアの考え方(2) 6 キャリアの考え方(3) 7 新聞の読み方・新聞の作られ方(1) 8 新聞の読み方・新聞の作られ方(2) 9 ハ ソコン講座(1) 10 ハ ソコン講座(2) 11 ハ ソコン講座(3) 12 ロシ カルシンキング (1) 13 ロシ カルシンキング (2) 14 ロシ カルシンキング (3) 15 全体の振り返り作業 <p>なお、授業の順番は必要に応し て適宜入替することが ある。</p>		
テキスト	なし		
参考文献	授業中に適時指示する。		
成績評価の基準・方法	<p>I 成績評価の基準</p> <p>講義目的と到達目標への到達度に応し て評価する。</p> <p>II 成績評価の方法</p> <p>以下の2項目を基準として、総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)演習への参加度(積極的な参加姿勢) :50%、 2)提出物(20%)及び レホ ート(30%) <p>を総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>I 履修上の注意</p> <p>授業計画の順番は、他のセ ミとの関係て 調整されるか 、授業内容は同一て ある。</p> <p>他のセ ミと合同て 授業を行うことが ある。</p>		

	<p>原則、遅刻や欠席は厳禁であり、担当教員と連絡をしっかりとること。</p> <p>II 履修要件 特になし。</p> <p>III 新型コロナウイルス感染防止対策 なお、当授業は原則全ての授業を対面とする予定であるが、履修者人数によっては新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週で実施する方法をとる場合がある。そのため自宅等でオンライン授業の受講を視聴出来る通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合がある。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡をする。</p>
実践的教育	該当しない。
備考	